

## A. 主な動き

### 1. 内政

ティモシェンコ前首相の逮捕に対する国際社会の懸念表明

・8日、チャーリー「全世界ウクライナ人会」会長談話:

「国際社会は、ウクライナが欧州評議会閣僚委員会やOSCEの議長国を務める一方で、基本的な欧州の価値観を公然と軽視するようなことは許されないことを、明確に宣告すべきである。さもないと、国際社会の批判は今後も無視され続け、レトリックとして受け止められかねない。」

・9日、トナー米國務省副報道官談話:

「米国がティモシェンコ前首相逮捕に懸念を有していることを再度強調したい。同様の懸念は国際社会も表明している。ティモシェンコ前首相の逮捕は、ウクライナにおける法規範遵守に疑問を投げかけ、ウクライナ当局が政治的動機に基づく訴追を行っているとの印象を一層強めるものである。ティモシェンコ前首相の即時釈放を検討するよう求める。我々は懸念をウクライナ政府に伝えた。今後も引き続きティモシェンコ前首相及びその他野党関係者に対する裁判を注視する。」

・11日、ヴォローニン元モルドバ大統領談話:

「ウクライナでティモシェンコ前首相に対して行われているすべてのことは恣意的であり、心配している。何らかの国際協定署名の罪を問うことはナンセンスであるばかりか、諸刃の剣ですらある。ロシアとデリケートな交渉をする一方で、ティモシェンコ前首相を投獄することは、裏切り行為である。」

ティモシェンコ前首相の逮捕に対する野党の反応

・6日、ソロカ「バチキフシナ」党報道官談話:

「最近、民主主義的価値観を多くの人々にアピールしたばかりのウクライナにおいて、外務省が全体主義国家構築のための汚い宣伝手段と成り果てたことは、恥ずべきことだ。外務省報道局は、欧州主要政治家、民主国家外務省及び米国政府により既に糾弾されているヤヌコーヴィチ体制の思い描く非民主的シナリオの実現に加担している。」

・6～7日、ボンダルチュク「我々のウクライナ」党中央執行委員会議長談話:

「ユーシチェンコ「我々のウクライナ」党首は、野党政治家及び元官僚に対する刑事訴追が法に則って行われるようになるまで、そして被告が違法な身柄拘束から釈放されるまで、裁判での証言をするべきでない。元大統領でオレンジ革命指導者である人物が、権力に弄ばれ、自らの証言で政治的迫害を正当化するようなことがあってはならない。」

「ウクライナでは憲法上の革命が起こったも同然である。我々は既に議会を失った。議会は国民を保護することを止

めた。我々はこのような(革命を起こす)権限を大統領、議会、政府に与えていない。従って、憲法体制を取り戻すために、野党は期限前議会選挙の実施を働きかけなければならない。」

・9日、ヤツェニューク「変化の前線」党首談話:

「9日、9つの政治勢力が集い、第1回会合を開催した。野党は協力し合わなければならない。さもないと、隅に追いやられ、銃撃を受け、抹殺されることだろう。このような認識が共有されるようになったのは、良いことである。我々は3つのことを考えている。第1に、キエフ市ペチェルスク地区裁判所付近で抗議活動を実施すること。第2に、ティモシェンコ前首相への支持を表明することで、ウクライナにおける民主主義体制を擁護すること。第3に、これが政治家の闘争ではなく、今日の体制の国民に対する宣戦布告であるということ。」

・12日、コロレフスカヤ最高会議産業・規制政策・起業委員会議長(「バチキフシナ」党)談話:

「ヤヌコーヴィチ大統領とメドヴェージェフ露大統領とのガス価格交渉は物別れに終わった。チギブコ副首相は、ティモシェンコ前首相の裁判がEUとのFTA交渉を難しくしていることを認めた。野党指導者の逮捕がウクライナの国際的イメージに大きな打撃を与えているのは明白だ。」

ティモシェンコ前首相の逮捕に対する与党の反応

・11日、コレスニチェンコ地域党議員談話:

「欧州評議会議員会議(PACE)のウクライナ監視委員会がティモシェンコ前首相の釈放を求めるのであれば、同首相に裁判規則を守り法廷を敬うよう求めるべきだろう。ティモシェンコ前首相の運命を心配するのであれば、(資金洗浄容疑で米国にて収監中の)ラザレンコ元ウクライナ首相のことも心配すべきだろう。そうしないのはウクライナへの態度が選択的であることを示している。」

ティモシェンコ前首相の逮捕に対するウクライナ政府発表

・9日、ヴォローシン・ウクライナ外務省情報政策局長発言:

「ティモシェンコ前首相の裁判に対する国際社会の関心は未曾有のものとなっている。我々は当然のことながら自らの立場を外国公館に説明し、議論し、連絡を取り合っている。治安機関も未曾有の透明性を発揮している。野党関係者はこのような国際社会の関心を利用して、裁判を止めないとウクライナの欧州統合及び連合協定署名に支障が出るかのような恫喝を試みている。」

## 2. 経済

### マクロ経済

- ・9日、アキーモヴァ大統領府第一副長官は、世界の金融市場の動揺に対してパニックに陥る必要はなく、また、ウクライナが債務不履行に陥る事は無い旨発言。
- ・11日、中央銀行は、7月のインフレ率がマイナス1.3%であり、デフレが観測された旨発表。物価の下落は、主に石油価格の下落による石油製品、燃料価格の下落に起因。
- ・11日、ヤヌコーヴィチ大統領は、世界金融市場の混乱を受けて、閣僚会議及び中央銀行に対し、海外金融市場の情勢を分析・注視するよう要請。
- ・12日、国家統計局は、1-6月期における貿易赤字額が55億960万ドルと発表。なお、輸出は前年同期比42.5%増の328億4330万ドル、輸入は同50.8%増の383億5290万ドル。

### IMF

- ・11日、アリエールIMFウクライナ常駐代表は、第2回目レビュー継続のために、アルヴァニティス氏を団長とするIMFのミッションが8月29日から9月9日にウクライナを訪問予定である旨発表。

### 農業

- ・10日、アザーロフ首相は、ウクライナ、ロシア及びカザフスタンの3か国の穀物輸出可能性は7500万トン近くと見積もることができ、この可能性を実現するために3か国の協調した行動が必要と発言。
- ・11日、アザーロフ首相は、今年の穀物収穫量を5000万トンと見込んでおり、このうち2400万トンの輸出が可能と発言。

### ガス問題

- ・10日、アザーロフ首相は、露天然ガス価格は、「ハリコフ合意」による割引を考慮しても、適切な市場価格とは言えず、不公平な契約は協力の基盤を損なうものである旨発言。
- ・11日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナ向け露天然ガス価格の値下げは、ウクライナ及び露両国の利益に叶っている旨コメント、ウクライナは露天然ガス価格の値下げを求めていく旨言明。
- ・12日、ナフトガスの子会社でガス輸送を行っているウクルトランスガス社は、2011年1~7月の対欧州向けガス輸送量が、前年同期比14.46%増加し、約638億立方メートルになった旨発表。

## 3. 外政

### 11日、ヤヌコーヴィチ大統領の訪露

- ・ヤヌコーヴィチ大統領は、メドヴェージェフ露大統領の招請に応じ、ソチを訪問。2014年冬季オリンピック大会の準備状況を視察。
- ・ヤヌコーヴィチ大統領は、メドヴェージェフ露大統領と会談

二国間関係、特に近く開催予定のウクライナ・露国家間委員会会合の準備状況、ガス分野における協力、国際場裡における協力等につき協議。

### EU・ウクライナ連合協定交渉

- ・9日、アキーモヴァ大統領府第一副長官は、ティモシェンコ前首相の逮捕に関し、如何なる政治的要素もウクライナとEUの連合協定交渉に影響を与えていない旨発言。
- ・10日、チギブコ副首相兼社会政策相は、ティモシェンコ前首相の逮捕により、EUとの連合協定交渉が困難になっている旨発言。
- ・10日、ティモシェンコ前首相は、EU加盟国の首脳に対し、ウクライナ・EU連合協定交渉を急ぐよう呼びかけ。
- ・11日、ウクライナ外務省は、ティモシェンコ前首相の逮捕は、EUとのFTA創設を含む連合協定交渉に影響していない旨発表。

### その他

- ・10日、アザーロフ首相は、近日中にプーチン露首相と会談し、ウクライナと関税同盟の協力につき協議予定である旨発表。

## 4. 防衛

### 陳中国総参謀長の来訪

- ・9日、国防省は、中国の陳総参謀長率いる軍事代表団がマクシモフ海軍司令官を公式訪問、会談において両国海軍の軍事協力の深化について意見交換を行った旨発表。
- ・11日、エジェリ国防相は、軍事代表団との会議において、ウクライナと中国は誇張なしに戦略的なパートナー且つ友好国である旨発言。先般のヤヌコーヴィチ大統領と胡錦涛中国国家主席の防衛分野における合意の実現は我々の主任務である旨強調。

- ・12日、アザーロフ首相は、軍事代表団との会議において、ウクライナと中国は軍事技術協力をセットアップしている旨発言、ウクライナは軍事協力の強化やウクライナ国防省高等教育機関における中国軍事訓練拡張のための軍事代表及び幹部の交換を行う準備がある旨強調。

### 黒海艦隊

- ・8日、ヴァプキン露無任所大使は、ロシアとウクライナでクリミアのロシア黒海艦隊駐留に関連した多くの政府間協定を立案中である旨発言。

### 武器輸出

- ・10日、アントノフ社はイラクへのAn-32輸送機輸出に関しイラクからの支払いがなされるまで製造を中止する旨発表。

### その他

- ・11日、アザーロフ首相は、戦略的な防衛産業の分野は今後2年間民間営化されることはないとしつつ、原則的には防衛分野は民間化できるが特別な注意をもって扱われるべきと発言。

(了)